

令和元年度

尼崎の教職員を支援するために

令和元年度事業計画
平成30年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局
教育総合センター
学び支援課
学び企画担当

令和元年度 尼崎の教職員を支援するために

令和元年度事業計画

1 教育総合センターの事業について	1
2 研修体系策定の方針	3
3 具体的な取り組み	4
4 研修をすすめるにあたって	6
5 研修体系図 ※別添参照 P8	7
6 教育総合センター研修一覧表	9
7 教職員研修計画内容	11
8 教育総合センター研修担当分担表	16
9 文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧	18

平成30年度事業報告

10 平成30年度 研修報告	19
11 平成30年度 教育研究部会の概要報告	25
12 児童生徒文化充実支援事業の実施報告	29
13 平成30年度 教科書センター事業報告	30
14 平成30年度 教育情報の収集・整理事業報告	30

資料

欠席届(様式3) 学び支援課長 あて	31
--------------------	-------	----

1 教育総合センターの事業について

教育総合センターは、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育てるために、教職員の資質向上を目的とした教職員の研修や、学力調査等の調査研究等に関する事業等を担当し学校間の、実践的な取組を支援している。

以下、本年度の運営方針と事業の概要を示す。

1 運営方針

兵庫県は、教育の基本計画である「ひょうご教育創造プラン」を策定し、「兵庫が育むところ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成とともに、教職員の資質能力の向上などを目指している。

本市においても、平成25年度から10年間を見通した『尼崎市総合計画』、教育振興基本計画において学校教育施策の展開方向が示され、学校教育に関する重点取組では「教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む」「心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る」「家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む」「安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る」を掲げている。

教育総合センターでは、県や市の示した方向性に対応すべく、教職員の資質向上の取組を推進するため、研修体系や教職員の不断の研究と修養を支援する。

2 主な事業の概要

現在、教育総合センターは、学び支援課（研修担当）と学び企画担当（調査・研究担当）があり、それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。

<教職員法定研修事業>

1 教職員研修

研修体系に基づいた各種の研修を実施することにより、教職員の資質と指導力の向上を図る。基本研修、専門研修、特別研修、中堅教員研修、外国語活動研修、指導主事研修、就学前教育研修、教科等研究会に係る研修、幼稚園教育研究会に係る研修

2 学びの先進研究サポート事業

教員自らが探求力を持ち、学び続けることで実践的指導力を高めるために、研修の充実を図るとともに、自主的研究を推進し活性化を図る。そのため、教員自主研究グループの活動費を補助し、書籍購入や資料印刷をサポートしていく。

また、先進地域の学校・園へ5日間赴き、研修を受ける。そのための、旅費や宿泊費等を補助し、教員の育成をサポートしていく。

3 中核市法定研修

新規採用教員に対して、採用の日から1年間、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。

また、中堅教員に対して、教員の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を、個々の能力・適正やニーズに応じて実施し、実践的な指導力や、教員としての資質の向上を図る。

<あまっ子ステップ・アップ調査事業>

教育委員会と学校が児童生徒の学力と学習状況を把握し、教育活動に関する継続的な検証改

善サイクルを確立するため、小学校は全学年、中学校は1年・2年を対象に、学力調査と生活実態調査を実施する。

あわせて「学びと育ち研究所」がデータを活用し、外部研究員とともに多面的な研究・分析を行う。

＜アクティブ・ラーニング学習モデル研究事業＞

課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点での授業改善を図るため、小・中学校授業実践部会を組織し、専任講師による継続した研修とともに、児童生徒が主体的に取り組む授業を実施することで学力向上を図る。

- (1)ステップ・アップ調査活用部会（小・中学校）
- (2)小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会（小学校）
- (3)小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会（小学校）

＜教育情報収集・提供事業＞

1 教育活動に役立つ情報を収集・整理して教育関係者に提供し、教職員の資質の向上に役立てる。また、広報活動を通して、保護者・教職員等への啓発を図る。

- ・「教育あまがさき」の発行（年2回）
- ・「教育総合センターだより」の発行（年4回）
- ・教育図書の見学、貸出し
- ・「情報コーナーからのお知らせ」の掲載（インターネット上で毎月）

2 小・中学校の保護者と児童生徒に、家庭向け学習プリント配信システム等の利用方法を示したリーフレットを配布し、ICTを活用した家庭での自主学習を支援する。

＜調査研究・教材開発事業＞

1 当面する教育課題について実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を得て、本市教育の充実に資する。

- ①中学校情報教育研究部会 ②道徳教育研究部会

2 ICTを活用した授業を推進し、指導力向上を図る。

3 小・中学校におけるプログラミング教育や情報モラル教育への対応を含め、情報活用能力を育成するためのカリキュラムや教材の開発を図る。

＜視聴覚研修事業＞

視聴覚機器等を活用した研修及び機器等の普及事業の推進を図る。また、視聴覚ライブラリーの整備・充実と利用の奨励を図る。

2 研修体系策定の方針

1 令和元年度学校教育に関する重点取組

- (1) 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む
 - ①授業改善の取組を促進するとともに、家庭との連携により、学力向上を推進する
 - ②特別支援教育の取組を充実させ、自立や社会参加に向けた主体性を育成する
 - ③食育を通して生活改善の取組を促進し、望ましい生活習慣を育成する
 - ④体育・スポーツ活動の取組を促進し、体力・運動能力の向上を図る
- (2) 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る
 - ①基本的な生活習慣確立の取組を促進し、心身共に健全な育成を図る
 - ②道徳性育成の取組を促進し、思いやりに満ちた人間関係及び社会との関わりづくりに努める
 - ③各校のいじめ防止基本方針に基づき、誰もが過ごしやすい学校の環境づくりに努める
 - ④キャリア教育の取組を促進し、社会的自立に必要な能力を育成する
- (3) 家庭・地域・学校の連携を深め、活力に満ちた学校園づくりに取り組む
 - ①教職員の資質向上の取組を促進し、業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る
 - ②地域の教育力を活用した取組を促進し、地域とともにある学校園づくりを推進する
- (4) 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る
 - ①安全教育の取組を促進し、登下校及び校内の安全確保を図る
 - ②防災教育の取組を促進し、危機管理能力の向上を図る

2 研修体系について

令和元年度学校教育に関する重点取組をふまえ、研修を大きく基本研修、専門研修、先進的研究・自主研修、特別臨時研修の4つに分類し実施していく。

また、道徳や小学校英語教育の教科化、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、基本研修において研修の重点化や拡充、整理を行う。具体的な内容としては、道徳教育推進教師研修や外国語研修は内容や方法を拡充していく。研修をシリーズ化し、各学校の担当者に受講してもらう機会を設定するようにする。なお、県が実施している研修等との連携を図り、本市研修を精選し、研修の機会や研修内容の整理を行っている。

(1) 基本研修

①職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために、学校の組織力向上を目的とした職階に応じた研修を実施する。特に、管理職の大量退職に伴う新任管理職に向けた研修(新任教頭研修)を充実させる。

②職務に応じた研修

本市の喫緊の課題である学校の中核となる教員の育成をねらいとした、学校運営、研究推進、生徒指導、学力向上、危機管理といった多様な資質の向上を図る研修をは

はじめとする職務に応じた研修を実施する。また、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点を踏まえた授業改善の推進をねらいとした研修を実施する。

③教職年数に応じた研修

教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では、中核市としての利点を活かし、授業力の育成を重点化した内容の充実を図る。さらに、1年目研修に引き続き、2年目、3年目とグループでの授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

④研修の充実と精選

次期学習指導要領に伴う研修を充実させ、具体的には、プログラミング教育研修等において、内容や方法を拡充する。また、その他の研修においても、学習指導要領の内容をできる限り網羅していく。

平成28年度から実施してきたリーダー養成研修については廃止し、職務に応じた研修を充実させる。また、令和2年度には、4年目研修で実施していた異校園種交流研修を2年目研修へ完全移行する。

(2) 専門研修

①教育課題等への対応研修

人権教育、インクルーシブ教育、食育に関する研修、いじめ防止・不登校児童生徒支援、特別支援教育に関する子ども理解のための研修、プログラミング教育、情報モラル、校務支援システムの活用等の情報教育に関する研修など、教育課題の対応に資する研修を実施する。

②教科等の指導力向上を目指した研修

児童等の学びに向かう力や人間性等の育成、学力向上等を目指し、各教科等における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。マイスター教員を含む新たな指導教員制度による、指導教員を講師として活用した研修など、若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

(3) 特別に実施する研修

年間計画に当初より予定している研修の他に、緊急性や必要性のある研修を学校園のニーズに応じて随時研修を実施する。また、指導員・指導主事を対象にした研修を年間2回程度実施する。

3 具体的な取り組み

1 教職員の資質向上

3つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

(1) あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

- ・ 校長や教頭などの職務、職階に対応した研修
- ・ 子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援・特別支援教育等）

- ・ 養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員等の職責を遂行するための研修
 - ・ 人権問題について学ぶための研修
- (2) **確かな授業力・指導力・専門性**
- 「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師
- ・ 授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
 - ・ 教科の指導力向上をめざした研修の充実
 - ・ 若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修、公開授業等）
 - ・ 保、幼、小、中、特別支援、高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実
- (3) **総合的な人間力**
- 総合的な人間力を高め、時代の変化や教育課題に対応し、柔軟に指導できる教師
- ・ 学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修
 - ・ 小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど、指導方法や教材における小・中連携を図る研修の充実
 - ・ 地域との連携を図るため、地域を知る研修の充実
 - ・ 防災・安全に関する研修
 - ・ 教育課題等への対応研修

2 中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として、国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

<初任者研修（法定研修）の充実>

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付けることを目指す。

そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。

初任者研修をさらに充実するものとして、1年目研修に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

<中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実>

グループによる教科指導や生徒指導の研修から、より実践力を高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深める。共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていく

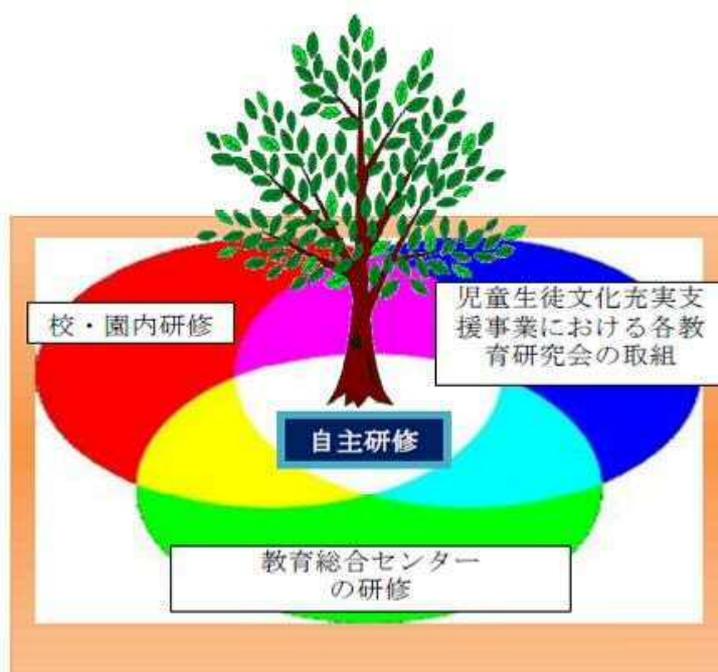
3 学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケートの実施、児童生徒文化充実支援事業や教科研究会との連携、他府県や他市からの情報をもとに、研修に対するニーズを考慮したうえで、研修事業に生かしていく。

4 研修をすすめるにあたって

研修には、各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営されている取組等がある。

それらが補完、連携し合っ
て教員の意欲や資質向上を促
していく。さまざまな研修の
延長線上に、教員自身が進ん
で学び続ける「自主研修」の
学びの根っこや栄養分がある
といえる。



1 教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

- (1) 授業力向上等に向けて、教育総合センターの研修では、様々な講座を開催し、実践的な研修を実施していく。また、受講した教員は、研修内容を校内に持ち帰り、教科部会等において広めることで、多くの教員の授業力向上等をめざす。
- (2) 授業力向上には、熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。このほか、授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し、授業づくりについて支援を行っていくなど、日々の授業に役立つ取組を実施していく。
- (3) 研究部会や研究会の成果を、公開授業研究発表会や研究紀要によって広く公開し、研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど、技能や知識の共有化を図る。
- (4) わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため、ICT活用などの出前研修を校内研修において実施していく。
- (5) 先進的な取組や研究、優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し、必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め、学び続ける教員の育成を図る。

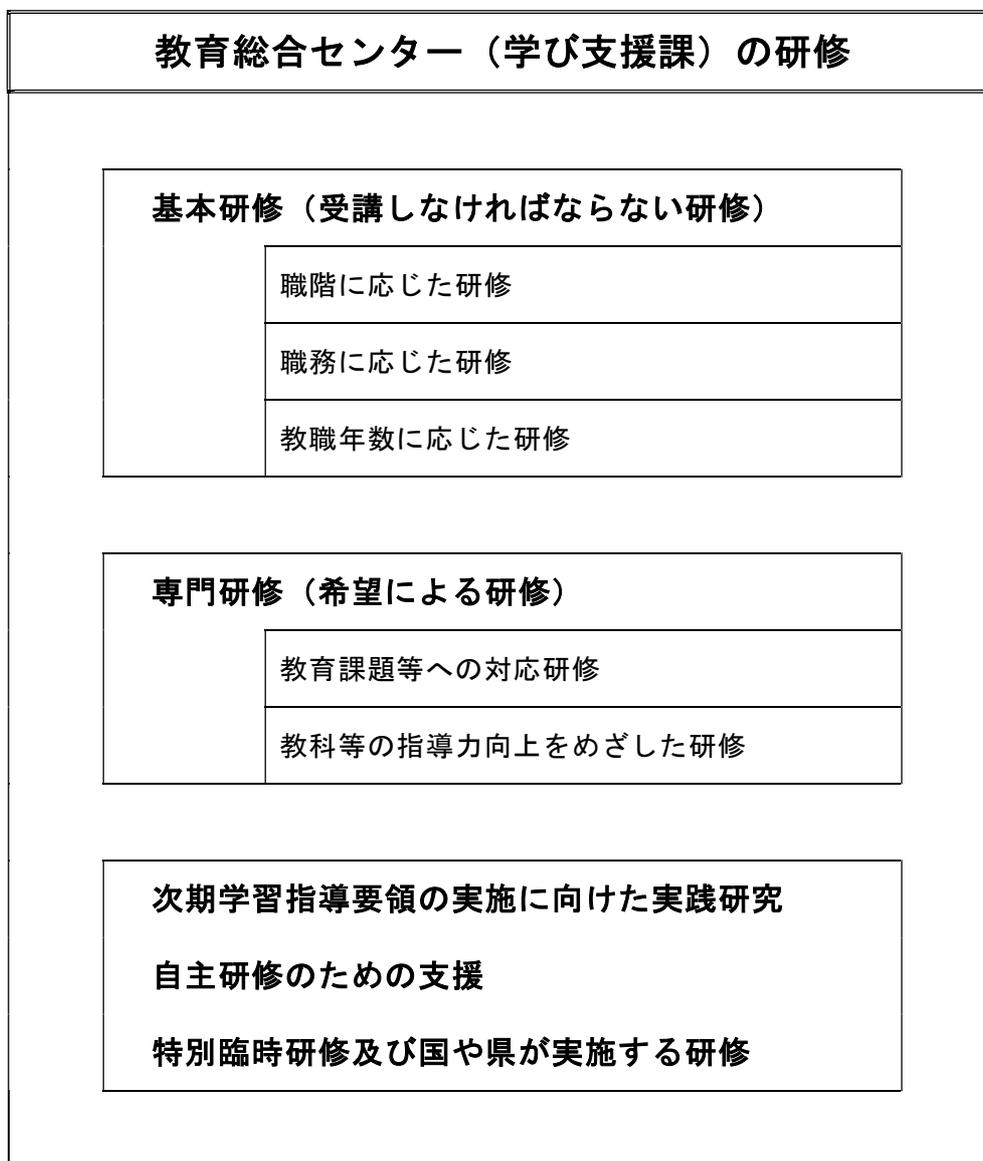
2 教育総合センターの研修と自主研修の連携

- (1) 教員自ら行う自主研修は、資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ、個々のニーズにあった支援の充実を図る。
- (2) 教育総合センター（ひと咲きタワー3階）の情報コーナーminiにおいて、最新の書籍を含む情報や、これまでに公開された授業の学習指導案を閲覧することができる。また、自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後9時）まで開放する。なお、AMA-NETのホームページより、教員が希望する書籍を申し込むことで、センター

に足を運ばなくても書籍を借りることができる。教員がホームページから申し込み後に、庁内メールで、書籍がセンターから教員の所属する学校に届けられる。返却についても同様であり、庁内メールが利用できる。

5 研修体系図 (略図)

(別添参照)



6 教育総合センター研修一覧表

※研修内容は予定です。

種別	中分類	令和元年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種		
			情 熱 感	授 業 力	専 門 性	対 応 力					
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修	校・園長研修	○			○	いじめ予防、危機管理について	校・園長	全校種		
		新任校・園長研修	○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種		
		教頭研修	○			○	いじめ対応策について	教頭	全校種		
		幼稚園教頭研修	○			○	教頭としての心構え	幼稚園教頭	幼稚園		
		新任教頭研修	○			○	新任教頭としての心構え	新任教頭	小・中・高・特		
	職務に応じた研修	新任管理職PC研修				○	ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種		
		教務担当者研修	○			○	地域に開かれた教育課程	各校より専任	小・中・特		
		研究担当者研修	○	○		○	カリキュラムマネジメント				
		生徒指導担当者研修	第1回	○			○			いじめ対応策について	
			第2回	○			○	SNS対応			
			第3回	○			○	予防スキルトレーニング			
		就学前教育研修	第1回				○	就学前教育について	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員及び小学校教員	幼稚園 保育園 保育所 小学校	
			第2回				○	具体例を通して就学前教育を学ぶ			
		養護教諭研修					○	養護教諭の課題解決に向けた研修	養護教諭	全校種	
		栄養教諭学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる					○	子どもの食に係る課題解決に向けた研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種	
		道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる					○	道徳授業実践研修	道徳教育推進教員	全校種	
		特別支援教育コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座と兼ねる					○	特別支援教育、インクルーシブ教育の充実を図るための研修	特別支援教育コーディネーター	全校種	
		学校事務職員研修					○	財務会計システムの運用	学校事務職員	全校種	
		教育用コンピュータ管理担当研修					○	教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特	
		プログラミング教育実践研修	第1回				○	プログラミング教育に係る授業実践	担当教員	小	
			第2回				○				
			第3回				○				
		外国語活動研修					○	外国語活動に係る授業づくり	担当教員	小	
		1年目教員必修研修	第1回				○	○	○	1年目教員必修研修対象者	小・中・特
			第2回				○		○		
	第3回					○		○			
	第4回					○	○				
	第5回					○		○			
	第6回					○		○			
	第7回					○		○			
	第8回					○		○			
	第9回						○				
	第10回						○	○			
	第11回							○			
	第12回						○	○			
第13回						○	○				
第14回						○	○				
教職経験者（2年次）研修	共通研修				○	○	○	2年目教員	全校種		
	グループ				○		○				
	グループ				○		○				
	選択研修				○						
	個人				○						
教職経験者（3年次）研修	共通研修				○	○	○	3年目教員	小・中・特		
	グループ				○		○				
	グループ				○		○				
	選択研修				○						
4年目教員研修（異校・園種交流研修）	個人				○			4年目教員	小・中		
5年次相当教員研修	選択研修				○	○	○	5年目教員 (5年次相当教員)	小・中・特		
	選択研修				○	○	○				
中堅教諭等資質向上研修	共通研修				○		○	10年経験者教員 (11年目教員)	小・中・特		
	選択研修				○		○				
15年次相当教員研修	選択研修				○	○	○	15年目教員 (15年次相当教員)	小・中・特		
	選択研修				○	○	○				
管外転入教員研修					○		○	管外転入教員	幼・小・中・特		

種別	中分類	令和元年度 研修・研修講座名	獲得を目指す資質				内容・領域	対象	対象校種
			精熟・感	授業力	専門性	対応力			
教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	1			○	○	教育機会確保法・不登校対策	全教職員	全校種
		2			○	○	外国人児童生徒を取り巻く環境と校内の支援体制について		
		3			○	○	LGBTについて		
	一般教養研修講座				○		民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種
	学校飼育動物研修講座				○		飼育動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特
	校務支援システム活用研修講座	小学校				○	各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等	全教員	小・特
		中学校				○			
	初級プログラミング教育研修講座				○	○	小学校プログラミング教育の基礎的な知識やスキル	全教員	小・特
	中学校ICT活用研修講座				○	○	ICT機器を利用した授業づくり	全教員	中・特
	情報モラル・セキュリティ研修講座				○	○	児童・生徒の正しいSNSの活用方法	全教員	全校種
	食育研修講座 ※栄養教諭栄養職員研修を兼ねる				○		子どもの食に係る課題解決に向けた研修	全教職員	全校種
	子ども理解のための研修講座	1			○	○	いじめ防止のための研修	全教職員	全校種
		2			○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応研修		
	インクルーシブ教育研修講座				○	○	特別支援教育、インクルーシブ教育の充実を図るための研修	全教員	全校種
	学級集団づくり研修講座 学級経営	1	○		○	○	学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2			○	○	野外活動に関する体験研修 (講師：美少年自然の家から出張講師)	全教員	全校種	
道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教師研修を兼ねる				○	○	道徳授業実践研修	全教員	全校種	
国語科教育研修講座	1			○		(小学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種	
	2			○		(中学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて			
社会科教育研修講座				○		社会科の授業で培う力	全教員	全校種	
図書館教育研修講座				○	○	学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種	
算数科教育研修講座				○		(小学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種	
数学科教育研修講座				○		(中学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種	
大学と連携した英語指導力向上研修講座	1			○		(小学校教員向け) 兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等	全教員	全校種	
	2			○		(中学校教員向け) 兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等			
外国語活動・英語科教育研修講座				○		小・中つながりのある英語教育	全教員	全校種	
理科教育研修講座				○		実験や観察で気をつけたいこと	全教員	全校種	
アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)	1			○		幼保小連携アプローチ・スタートカリキュラムについて	全教員	全校種	
	2			○		造形遊びに関する公開授業(幼保小連携)			
	3			○		明日から使える楽しい音楽遊び			
幼児教育研修講座				○		幼児期の子どもの特性をとらえた教育について	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員及び小学校教員	幼稚園 保育園 保育所 小学校	
音楽科教育研修講座				○		表現と鑑賞の指導について	全教員	全校種	
図工・美術科教育研修講座				○		造形活動に関する講話および実技演習	全教員	全校種	
体育科教育研修講座	1			○		リズムジャンプ	全教員	全校種	
	2			○		フラッグフットボール			
特別活動研修講座				○	○	楽しいゲーム実技	全教員	全校種	
技術科教育研修講座				○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種	
家庭科教育研修講座				○		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種	
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教員による授業) (中学校教員による授業)	1			○		公開授業、事後研修会	全教員	全校種	
	2			○		公開授業、事後研修会			
	3			○		公開授業、事後研修会			
	4			○		公開授業、事後研修会			
	5			○		公開授業、事後研修会			
	6			○		公開授業、事後研修会			
	7			○		公開授業、事後研修会			
	8			○		公開授業、事後研修会			
教育総合センター研究発表会				○	○	各研究部会による公開授業等	全教員	全校種	
特別に実施する研修	臨時研修 特別臨時研修					課題に対応した研修(1)			
						課題に対応した研修(2)			
						課題に対応した研修(3)			
						課題に対応した研修(4)			

	ステップ・アップ調査活用部会	全7回		○	○	あまっ子ステップ・アップ調査結果を活用した授業改善 等	各校より専任	小・中
	小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会	随時		○	○	国語科で創る主体的・対話的で深い学び 等		小学校
	小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会	随時		○	○	算数科で創る主体的・対話的で深い学び 等		小学校
	中学校情報教育研究部会	随時		○	○	ICT機器の効果的活用 等		中学校
	道徳教育研究部会	随時		○	○	児童生徒に考え議論させることを通して心に響く授業の構築		小・中
	教育総合センター研究発表会			○	○	各研究部会による公開授業等	全教員	全校種

7 教職員研修計画内容

※研修内容は予定です。

1 受講しなければならない研修（基本研修）

(1) 職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
校長研修	第1回	4/23	管理職として、広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	校長	講話
	第2回	5/23			
	第3回	8/9			
園長研修	未定		危機管理について	園長	講話
新任校・園長研修	未定	管理職としての職務（学校経営、管理運営、職員育成）について理解を深め、望ましい学校・園経営の在り方を考える。	新任校・園長としての心構え	新任校長 新任園長	講話
教頭研修	未定	管理職としての職務について理解を深め、効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題研修	教頭	講話
幼稚園教頭研修	未定	教頭としての心構えや園の経営について研修し、幼稚園経営の充実を図る。	教頭としての心構え	幼稚園 教頭	講話
新任教頭研修	定例教頭会終了後等	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	新任教頭としての心構え・実務	新任教頭	講話
新任管理職コンピュータ研修	4月	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに、尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを活用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

(2) 職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
教務担当者研修	7/25	教務担当者としての職務と職責を学ぶ	学校と地域がウィン・ウィンの関係で子どもたちを健やかに育もう	教務担当者	講話 及び 演習	
研究担当者研修	未定	研究担当者としての職務と職責を学ぶ	カリキュラムマネジメント	研究担当者		
生徒指導担当者研修	第1回	生徒指導上の課題について、組織的に対応する力の向上を図る。	いじめ対応策の持つ意味	生徒指導 担当者	講話	
	第2回		SNS対応研修			
	第3回		子どものSOSをキャッチする			
就学前教育研修	第1回	小学校就学前教育について知り、指導力を高める。	就学前教育について【実践編】	就学前教育に携わる幼稚園、保育園、保育所等の教職員および小学校教員		
	第2回	就学前教育の具体的な内容について理解を深め、指導力の向上を図る。	就学前教育について【理論編】			
養護教諭研修	未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し、現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の課題解決に向けた研修	養護教諭	講話	
栄養教諭研修 ※食育研修講座を兼ねる	8/5	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	成長期の食について	栄養教諭 学校栄養職員	講話	
道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる	第1回	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	道徳教育推進教師	講話及び 演習	
	第2回					9/13
外国語活動研修	第1回	外国語の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	外国語授業実践研修	外国語教育 担当教員	講話	
	第2回					未定
特別支援教育 コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座を兼ねる	未定	特別支援教育についての理解を深め、コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て	特別支援教育 コーディネーター	講話	
学校事務職員研修	未定	財務会計システムの使用について、共通認識をもつとともに、疑問点を解決する。	財務会計システムの運用について	学校事務職員	講話	
教育用コンピュータシステム 管理担当研修	5/9	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに、管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援 学校の教育用コンピュータ 管理担当教員	講話及び 演習	
プログラミング教育における 実践研修	第1回	プログラミング教育における見識を深め、授業実践力を高める。	プログラミング教育に係る授業案づくりから実践報告～交流まで	小学校の情報 教育担当教員	講話及び 演習	
	第2回					8/20
	第3回					2/6

【研究部会】次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

研修・講座名	実施時期	目的	内容	対象	備考
ステップ・アップ調査活用部会	5/20 6/5 7/24 8/19 他	ステップアップ調査研究を活用授業改善を図る	ステップアップ調査研究の活用及び授業改善に向けて取り組みの研修	小・中学校 各校より選任	講話及び 演習
小学校算数科教育 アクティブ・ラーニング 部会	6/3 他	算数科に関する理解を深め、指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	算数科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 より選任	講話及び 演習
小学校国語科教育 アクティブ・ラーニング 部会	6/4 他	国語科に関する理解を深め、指導内容と方法について研修し、授業力の向上を図る。	国語科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 より選任	講話及び 演習
中学校情報教育研究部会	6/25 他	授業におけるICT機器の効果的活用についての研究	ICT機器の効果的活用	中学校 より選任	講話及び 演習
道徳教育研究部会	6/20 他	児童生徒に対して考え議論させる指導方法について研修し、授業力の向上を図る。	児童生徒に考え議論させることを通して心に響く授業の構築	小・中学校 より選任	講話及び 演習

(3) 教職年数に応じた研修(経験年数別研修)

研修・講座名	実施時期	目的	内容(研修テーマ等)	対象	備考
1年目教員必修研修	第1回	本市の教員としての自覚を促し、教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育、接遇について、ICT	幼・小・中・高・特別 支援学校の初任者	講話 及び 演習
	第2回		「特別の教科 道徳」の指導 学級経営	小・中学校の 初任者	
	第3回		校務支援、 学習指導の基礎と学習集団づくり 教科の指導		
	第4回		授業のユニバーサルデザイン化、 尼崎養護学校の授業参観		
	第5回		情報モラル教育、生徒指導		
	第6回		学校事故・アレルギー疾患への対応 授業実践研修①		
	第7回		教科の指導① 教科の指導② 特別活動(クラブ活動を含む)		
	第8回		尼崎の地域・歴史 主体的・対話的で深い学びについて	小・中学校の 初任者	
	第9回		救命救急法、体験研修、 教科指導におけるICTの活用		
	第10回		尼崎の人権教育 教科の指導③		
	第11回		授業実践研修	小・中・特別支援 学校の初任者	
	第12回		カウンセリングマインドに基づいた教育相談 教科の指導	小・中学校の 初任者	
	第13回		他業種に学ぶ、授業実践研修		
	第14回		1年目教員研修の成果と課題、 2年次研修に向けて、学習評価		

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考
教職経験者（2年次）研修	5/29	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法の活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	ライフオーガナイズ 研修の概要、授業づくり グループ授業実践研修①	小・中学校の 2年目教員	講話
	6月～ 2月		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ （公開授業）		授業
			教科等の研修講座を3つ選択して受講する		講話 及び 演習
			異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）		授業
教職経験者（3年次）研修	6/17	初任者研修、教職経験者（2年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。	メンタルヘルスマネジメント 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①	小・中学校の 3年目教員	講話 及び 演習
	6月～ 2月		グループ授業実践研修② 実践交流、指導案の検討等		授業
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会		授業
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		講話 及び 演習
4年目教員研修 （異校・園種交流研修）	6月～ 2月	異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより、他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）	幼・小・中・高・特別支援学校の4年目教員	授業
5年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ、指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の5年目教員（養護及び栄養教諭）及び希望対象者	
中堅教諭等資質向上研修	5/15	個々の能力や適性、ニーズに応じて研修を実施し、指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	共通研修 「中堅教諭としての役割」	小・中・特別支援学校の10年経験者 （11年目）	講話 及び 演習
	5月～ 2月		教科指導少人数グループ研修		
	9/4		生徒指導少人数グループ研修		
	5月～ 2月		選択研修 任意の研修を選択		
15年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から1日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の15年目教員（養護及び栄養教諭）及び希望対象者	
管外転入教員研修	6/27	本市の教育の現状と課題について理解し、実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

2 希望による研修（専門研修）

(1) 教育課題等への対応研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
人権教育研修講座	1	7/26 8/2 8/22	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため、人権にかかわる教育課題に対する理解を深め、指導力の向上を図る。	全教職員	講話及び演習	
	2	8/19				教育機会確保法・不登校対策
	3	8/22				外国人児童生徒を取り巻く環境と校内の支援体制について 「あなたの身近にもいるLGBT～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～」
一般教養研修講座		8/6	社会の動向等、教育界だけでなく他の領域の知恵に学び、視野を広げる。	全教職員	講話及び演習	
学校飼育動物研修講座		6/28	学校・園内での飼育動物について、管理や繁殖、施設や環境を知り、幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	全教職員	講話及び演習	
校務支援システム活用研修講座	小学校	夏期	校務支援システムの活用方法の基礎を習得し、効率的に業務の遂行を図る。	全教職員	講話及び演習	
	中学校	夏期				
初級プログラミング教育研修講座		8/6	小学校プログラミング教育の基礎的な知識・スキルの習得。	全教職員	講話及び演習	
中学校ICT活用研修講座		7/23	ICTを効果的に活用する授業方法について学ぶ。	全教職員	講話及び演習	
情報モラル・セキュリティ研修講座		8/5	児童・生徒の正しいSNSの活用方法について学ぶ。	全教職員	講話及び演習	
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる		8/5	子どもの食に係る課題を認識し、理解を深めるとともに、食育の指導力を高める。	全教職員	講話及び演習	
子ども理解のための研修講座	1	7/22	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し、支援の在り方について理解を深める。	全教職員	講話及び演習	
	2	7/29	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について、理解を深める。			
インクルーシブ教育研修講座		未定	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに、具体的な事例を通して、実践的な対応力の向上を図る。	全教職員	講話及び演習	
学級集団づくり研修講座 学級経営	1	6/6	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め、学級力の向上を図る。	全教職員	講話及び演習	
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2	8/1	体験活動を通して、他者に対する思いやりの心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。	全教職員	講話及び演習	

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名	実施時期	目的	内容（研修テーマ等）	対象	備考	
道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教員研修を兼ねる	1	5/10	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	全教職員	講話及び演習
	2	9/13				
国語科教育研修講座	1	8/27	国語科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	物語文の授業づくり		
	2	7/25		絵手紙の指導（実技）		
社会科教育研修講座	8/5	社会科教育についての理解を深め、指導力の向上を図る。	「主体性を引き出す発問の工夫」 ～社会の授業でアクティブラーニングを実践するために～			
図書館教育研修講座	未定	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開			
算数科教育研修講座	8/5	新しい教育課題に取り組み、児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	「算数の授業作り」			
数学科教育研修講座	8/1	数学に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	「新学習指導要領における評価の在り方を考える」			
理科教育研修講座	未定	理科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し、指導力の向上を図る。	実験や観察で活かせる指導			
アプローチ・スタート カリキュラム研修講座	1	未定	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め、保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼保小連携教育カリキュラムを生かした保育・授業の展開		
	2	未定		【造形】（幼保小連携教育）		
	3	未定		【音楽】（幼保小連携教育）		
幼児教育研修講座	未定	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	幼児期の子どもを特性をとらえた教育について			
音楽科教育研修講座	8/23	表現・鑑賞の活動を通して、音楽の基礎的な指導技術を学び、指導力の向上を図る。	鑑賞の指導について			
図工・美術科教育研修講座	7/26	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに、造形的な創作活動について研修し、指導力の向上を図る。	〔図画工作科、育てたい力〕 ～講話と実技で学ぶ～			
体育科教育研修講座	1	7/24	体育科に関する専門性を深めるとともに、児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ、指導力の向上を図る。	リズムジャンプ		
	2	7/23		フライングフットボール		
外国語活動・英語科教育研修講座	8/1	英語科指導に関する専門性を深めるとともに、生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	外国語教育における小中連携・接続			
大学と連携した英語指導力向上研修講座	未定	外国語活動の指導法等についての理解を深め、指導力の向上を図る。	大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等			
技術科教育研修講座	7/24	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	コテラトマト 小寺 清隆 氏から学ぶ トマトの栽培			
家庭科教育研修講座	8/5	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	成長期の食について			
マイスター教員による公開授業研修講座 (小学校教員による授業) (中学校教員による授業)	7月～ 2月	見本となる授業とその研究協議を通して、個々の授業力や指導力を高める。	マイスター教員による公開授業研修講座			
教育研究発表会	未定	研究成果を発表し、学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による公開授業等			

8 教育総合センター研修担当分担表

種別	中分類	令和元年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者											
				太田	松本	小林	西井	瀧本	藤井	森井	甲斐				
職に階たに研修		校・園長研修	学校経営課題研修 (危機管理研修)	○											
		新任校・園長研修	校・園長の職務	○											
		教頭研修(1)	学校経営課題 (教員の育成 OJT)	○											
		教頭研修(2)	幼稚園教頭対象	○											
		新任教頭研修	実務に関する対応研修 (シリーズ)		○	○									
	職務に応じた研修		新任管理職コンピュータ研修	ネットワークを利用した校務処理					○	○	○	○			
			教務担当者研修	教務担当者としての職務と職責を学ぶ	○										
			研究担当者研修	研究担当者としての職務と職責を学ぶ	○										
			就学前教育研修	第1回	就学前教育について【理論編】				○						
				第2回	就学前教育について【実践編】				○						
			養護教諭研修	養護教諭の職務等に関する研修		○									
			栄養教諭 学校栄養職員研修 ※食育研修講座を兼ねる	栄養教諭の職務等に関する研修				○							
			道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる	第1回	道徳授業実践研究			○							
				第2回	道徳授業実践研究			○							
外国語活動研修			第1回	外国語授業実践研修		○									
			第2回	外国語授業実践研修		○									
特別支援教育コーディネーター研修			特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)	○											
学校事務職員研修			学校事務職員の実務について		○										
プログラミング教育実践研修			全3回					○				○			
教育用コンピュータシステム管理担当研修	教育用コンピュータシステムの管理と運用							○			○				
受講しなければならない研修(基本研修)	教職年数に応じた研修	1年目教員必修研修	第1回	尼崎の教育、接遇について、ICT											
			第2回	生徒指導、外国語の指導、教科の指導①											
			第3回	校務支援、学習指導、学級集団づくり							○	○			
			第4回	授業のユニバーサルデザイン化、あまよう特別支援学校の授業参観											
			第5回	情報モラル、教科の指導②											
			第6回	学級経営、授業実践研修①											
			第7回	特別活動、教科の指導②、授業実践研修②											
			第8回	尼崎の地域、教科の指導③											
			第9回	救急救命法、教科におけるICTの活用							○	○			
			第10回	学校事故、尼崎の人権教育											
			第11回	授業実践研修③											
			第12回	教育相談、「特別の教科 道徳」の指導											
			第13回	他業種に学ぶ、教科の指導④											
			第14回	1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて											
2年次教員研修	共通研修	ライフオーガナイズ、授業づくりについて、グループ授業実践研修①													
	グループ	グループ授業実践研修②(指導案、レポート等をもとに実践交流)													
	グループ	グループ公開授業研修③(代表者による公開授業、事後研究会)	○	○	○		○	○	○	○					
	選択研修	教職員の学び支援課が指定した研修から2講座を受講													
	共通研修	異なる校・園種との連携(授業参観、TTによる授業実践研修等)													
3年次教員研修	共通研修	メンタルヘルス、授業づくり等について、グループ授業実践研修①													
	グループ	グループ授業実践研修②(指導案、レポート等をもとに実践交流)	○	○	○		○	○	○	○					
	グループ	グループ公開授業研修③(代表者による公開授業、事後研究会)													
	選択研修	「教科等の指導力向上をめざした研修」から1講座を受講													
4年目教員研修(令和2年度に廃止)	個人	異なる校・園種との連携(授業参観、TTによる授業実践研修等)					○								
5年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1日分(半日は2つで1日とする)選択					○								
中堅教諭等資質向上研修	共通研修	尼崎の今日的課題に取り組む、著作権に関する内容													
	グループ	教科指導少人数グループ研修	○												
	グループ	生徒指導少人数グループ研修													
	選択研修	教科に関する研修講座等から選択													
15年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1回分(研修時間が2時間であっても、1日であっても1回分とカウント)選択					○								
管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み					○								

種別	中分類	令和元年度 研修・研修講座名	内容・領域	担当者								
				太田	松本	小林	西井	瀧本	藤井	森井	甲斐	
希望による研修（専門研修）	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	(1) 教育機会確保法・不登校対策									
			(2) 外国人児童生徒を取り巻く環境と校内の支援体制について				○					
			(3) L G B Tについて									
		一般教養研修講座	民間で活躍する人に学ぶ				○					
		学校飼育動物研修講座	小動物の取り扱いについての留意点				○					
		情報モラル・セキュリティ入門研修講座	モラル・セキュリティ入門							○		
		校務支援システム活用研修講座	小学校	各種名簿作成、日々の様子、生徒指導等							○	○
			中学校							○		○
		中学校 I C T活用研修講座	コンピュータ室の機器及びソフトウェアの活用						○			
		初級プログラミング教育研修講座	プログラミング教育について							○		
		食育研修講座 ※栄養教諭研修を兼ねる	子どもの食に関する課題解決に向けた研修				○					
		子ども理解のための研修講座	(1) 生徒指導、不登校児童生徒支援について			○						
			(2) 特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応研修			○						
		インクルーシブ教育研修講座	特別支援教育、インクルーシブ教育の充実を図るための研修			○						
	学級集団づくり研修講座 学級経営	(1) 学級経営の基本を学ぶ				○						
	学級集団づくり研修講座 野外活動体験	(2) 野外活動に関する体験研修 (講師：美方少年自然の家から出張講師)				○						
	教科等の指導力向上を目指した研修	道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教師研修を兼ねる	(1) 道徳授業実践研究			○						
			(2) 道徳授業実践研究			○						
		国語科教育研修講座	(1) (小学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について		○							
			(2) (中学校向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について									
		社会科教育研修講座	社会科授業で培う力		○							
		図書館教育研修講座	学校における多様な読書活動の展開		○							
		算数科教育研修講座	(小学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて		○							
		数学科教育研修講座	(中学校教員向け) 主体的・対話的で深い学びの充実に向けて		○							
		理科教育研修講座	実験や観察で気をつけたいこと		○							
		アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の接続期教育研修講座)	(1) (生活科に関すること) 生活科授業デザインの方法及びその実際		○							
			(2) (造形に関すること) 色・形・手触りを楽しむ									
(3) (音楽に関すること) 音を楽しむ												
幼児教育研修講座		幼児期の子どもの特性をとらえた教育について				○						
音楽科教育研修講座	表現と鑑賞の指導について				○							
図工・美術科教育研修講座	造形活動に関する講話および実技演習		○									
体育科教育研修講座	(1) リズムジャンプ				○							
	(2) フラッグフットボール											
外国語活動・英語科教育研修講座	小・中つながりのある英語教育		○									
大学と連携した英語指導力向上研修講座	大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等		○									
特別活動研修講座	学級活動の指導のあり方		○									
技術科教育研修講座	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			○								
家庭科教育研修講座	学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			○								
研究部会	研究部会	小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会	国語科で創る主体的・対話的で深い学び 等		○							
		小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会	算数科で創る主体的・対話的で深い学び 等						○			
		中学校情報教育研究部会	ICT機器の効果的活用						○			
		道徳教育研究部会	児童生徒に考え議論させることを通して心に響く授業の構築			○						
		ステップ・アップ調査活用部会	ステップアップ調査研究を活用授業改善を図る					○		○		
		教育総合センター研究発表会	各研究部会による公開授業等				○					
特別に実施する研修	臨時研修	特別臨時研修（指導員・指導主事研修等）	課題に対応した研修（1）		○							
			課題に対応した研修（2）									
			課題に対応した研修（3）									
			課題に対応した研修（4）									

9 文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧

主催	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
	英語教育推進リーダー中央研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員及び 新任通級指導担当教員
	ベーシック研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	アドバンス研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	学校・地域支援リーダー研修	特別支援学校教員，幼・小・中・高等学校の特別支 援教育担当教員（市・学校等からの推薦により受講）
	サポート研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
県立教育研修所	高等学校初任者研修	令和元（2019）年度採用高等学校教員 平成30（2018）年度採用高等学校教員
	高校教員3年次研修講座	平成29（2017）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成21（2009）年度採用高等学校教員
	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	全校園種教員
	自由研修	令和元（2019）年度採用
	学校経営研修講座	小・中・特別支援学校校長
県教育委員会 阪神教育 事務所 等	学校管理職・教育行政職特別研修	令和元（2019）年度採用 小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	令和元（2019）年度採用高等学校校長
	幼稚園等新規採用教員研修	令和元（2019）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修	平成21（2009）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用10年次）	平成22年（2010）年度採用 小・中・特別支援学校の10年目養護教諭・栄養教諭
	市町立学校主幹教諭研修会	令和元（2019）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び 任用候補者研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
大学と連携した英語指導力向上事業	小・中・高等学校（県費）教員	

10 平成30年度 研修報告

本年度は、平成29年4月に一部改正された教育公務員特例法により策定された教員等の資質向上に関する指標に基づき教職員研修計画(体系図)整備し、研修を実施した。指標については、キャリアステージに応じて教員の育成すべき資質を明確にしているため、個々の研修の目的を育成すべき資質との関連をより明確に実施する必要がある。

1 受講しなければならない研修(基本研修) (1) 職階に応じた研修(職階別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
校・園長研修	5	31	木	講話	最近の教育政策の動向について	尼崎市教育委員会 教育長	松本 眞	62	
新任校・園長研修	6	28	木	講話	新任校・園長に望むこと	尼崎市教育委員会 教育次長	西野 信幸	16	
教頭研修	8	29	水	講話	学校の危機管理 ～事案から学ぶ初対応～	生徒指導担当 係長	西村 純一	62	
新任小中学校教頭研修	(1)	4	19	木	講話	「教頭の実務について」 「ネットワークを活用した校務処理」	学校運営課 係長	阿部 和代	22
	(2)小	6	13	水	講話	学籍事務について 就学援助の流について	学務課 書記 事務員	日野 遼太 馬込 宗孝	10
	(2)中特	6	14	木	講話	学籍事務について 就学援助の流について	学務課 書記 事務員	日野 遼太 馬込 宗孝	19
	(3)中特	7	11	水	講話	特別支援学級編成に係る事務手続きや書類の書き方について	教育相談・特別支援担当 指導主事	神保 玲子	10
	(3)小	7	12	木	講話	特別支援学級編成に係る事務手続きや書類の書き方について	教育相談・特別支援担当 係長	菊谷 徳洋	11
	(4)	9	13	木	講話	学校給食に係る食物アレルギーや異物混入について	学校保健課 指導主事	高原 有子	21
幼稚園教頭研修	8	30	木	講話	幼稚園教頭としての心構えと危機管理	教育総合センター 授業改善アドバイザー	山内 宏美	9	
新任管理職コンピュータ研修	4	19	木	講話 演習	「ネットワークを利用した校務処理」	教職員の学び支援課 指導員 教職員の学び支援課 指導員	藤井 俊史 小谷 隆宏	22	

(2) 職務に応じた研修(職務別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
リーダー養成研修	(1)	8	2	木	講話	「学校運営に係る教育法規等」	職員課 総括	佐野 正信	52
	(2)	8	7	火	講話	「カリキュラムマネジメントの実践と課題【実践編】」	新都区立西新宿小学校 校長	清水 仁	54
	(3)	9	12	水	講話	「チームで取り組む校内研究」	大阪教育大学大学院 教授	木原 俊之	55
	(4)	10	9	火	講話	「学校の危機管理能力を高める-ネットいじめの事例から-」	鳴門教育大学 教授	阪根 健二	50
	(5)	12	10	月	講話	「カリキュラムマネジメントの考え方と方法【理論編】」	甲南女子大学 教授	村川 雅弘	63
就学前教育研修	(1)	8	28	火	講話 演習	「ステキなぼうし屋さん」	武庫川女子大学 講師	大畑 幸恵	18
	(2)	12	10	月	講話 演習	学びをつなげる幼保小の連携	鳴門教育大学 教授	木下 光二	56
養護教諭研修	2	19	火	講話	様々な課題を抱える子どもたちに対して養護教諭ができること	ジャーナリスト	秋山 千佳	70	
栄養教諭研修	3	4	月	講話 演習	「ライフステージを通じた食育支援」	北部保健福祉センター 地域保健課	山岡 かおり	5	
道徳教育推進教師研修	(1)	5	11	金	講話 演習	「教科」時代の道徳教育を創る	四天王寺大学 准教授	杉中 康平	61
	(2)	9	10	月	講話 演習	「教科」時代の道徳授業を創る ワークシート(授業づくり)	四天王寺大学 准教授	杉中 康平	59
外国語活動担当者研修	(1)	8	1	水	講話 演習	「楽しい! 外国語活動授業づくり」	尼崎市立園田東小学校	手嶋 浩之	40
	(2)	8	1	水					41
管外転入教員研修	6	22	金	講和	尼崎市の教育について	教育総合センター 所長	西川 嘉彦	14	
学校事務職員研修	(1)	10	29	月	講話 演習	演習「基礎から学ぶExcelの関数」 講和「ICT導入で変わる学校現場」	教職員の学び支援課 指導主事 情報教育担当 係長	兒玉 崇 後藤 聡志	57
	(2)	3	1	金					57
教育用コンピュータシステム管理担当研修	4	20	金	講話	「尼崎市のネットワーク環境等について」	教職員の学び支援課 指導員 教職員の学び支援課 指導員	小谷 隆宏 藤井 俊史	53	
特別支援コーディネーター研修	8	2	木	講話	インクルーシブ教育における非言語(ノンバーバル)の可能性～国語科の授業づくりを手がかりに～	関西学院大学 准教授	原田 大介	156	

(3) 次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
国語科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	6	7	木	講話 演習	桃山学院教育大学 准教授	今宮 信吾	36	
	(2)	7	27	金	講話 演習			授業づくり演習 レポート交流	39
	(3)	8	3	金	講話 演習	桃山学院教育大学 教授	二瓶 弘行	181	
	(4)	8	3	金	講話 演習	桃山学院教育大学 准教授	今宮 信吾	29	
	(5)	8	22	水	講話 演習			「深い学びを創る」 指導案検討	39
	(6)	2	13	水	授業参観 講話			公開授業 第5学年の実践「わらぐつの中の神様」 事後研究会・指導助言	17
	(7)	2	19	火	授業参観 講話			公開授業 第4学年の実践「詩を書こう」 事後研究会・指導助言	14
	(8)	2	26	火	講話 演習	今年度のまとめと来年度に向けて			30
算数科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	7	6	金	講話 演習	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	-	
	(2)	7	27	金	講話 演習			「算数科で創る主体的・対話的で深い学び」 授業作り演習・指導案演習	37
	(3)	8	2	木	講話 演習			指導案交流・研究協議・指導助言	40
	(4)	8	2	木	講話 演習			36	
	(5)	8	22	水	講話	筑波大学付属小学校 教諭	山本 良和	160	
	(6)	12	17	月	授業参観 講話	関西大学初等部 教諭	尾崎 正彦	38	
	(7)	2	4	月	授業参観 講話			公開授業 第5学年の実践 研究協議・指導助言	32
	(8)	2	18	月	授業参観 講話			講師の先生による公開授業 算数指導におけるQ&A	19
	(9)	2	25	月	講話 演習			授業実践レポート交流 算数科で創る主体的・対話的で深い学び	35
(1)	5	25	金	講話 演習	大阪教育大学大学院 准教授 鳴門教育大学大学院 講師			寺嶋 浩介 泰山 裕	17
(2)	8	1	水	講話 演習		「プロジェクトチームでの活動にあたって」 プロジェクトチームの活動	17		
(3)	8	31	金	講話 演習		1学期のアクティブ・ラーニング授業実践例報告	17		
(4)	9	28	金	演習		「アクティブ・ラーニングを校内に普及するために」 深い学びにむけた授業づくり ICT機器を利用した授業づくり	17		
(5)	11	29	木	講話 演習		プロジェクトチームによる活動の中間報告 プロジェクトチームの活動	17		
(6)	1	18	金	講話 演習		2学期のアクティブ・ラーニング授業実践例報告	17		
(7)	2	28	木	講話 演習		本年度のまとめと成果報告 3年間のまとめ	17		
外国語活動・英語科教育 研究部会	2	21	木	授業参観 講話	公開授業 第6学年の実践 事後研究会・指導助言	関西大学 教授	今井 裕之	65	
道徳教育研究部会	1	11	金	授業参観 講話	公開授業 中学校第3学年の実践 事後研究会・指導助言	四天王寺大学 准教授	杉中 康平	15	

(4) 経験年数に応じた研修 (経験年数別研修)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜					
1年目教員必修研修	第1回	4	24	火	講話 「接遇」「教職員としての心構え・服務」 「尼崎の教育」「尼崎市のICT環境」	HY教育エンタープライズ 代表 教職員の学び支援課 指導主事 教職員の学び支援課 指導員 教職員の学び支援課 指導員	橋場 由見子 松本 隆範 藤井 俊史 小谷 隆宏	62
	第2回小	5	22	火	講話 演習 「外国語活動・外国語科の指導法」 「児童理解に基づいた生徒指導」	関西大学 教授 教職員の学び支援課 指導主事 生徒指導担当 指導主事	今井 裕之 松本 隆範 碓 裕樹	34
	第2回中	5	22	火	講話 演習 「校務支援システムの活用」 「情報モラル教育」 「教科指導におけるICTの活用」	教職員の学び支援課 指導員	藤井 俊史	17
	第3回小	5	29	火	講話 演習 「学級集団の基礎と学習集団づくり」 「校務支援システムの活用」	教職員の学び支援課 指導主事 教職員の学び支援課 指導員	松本 隆範 小谷 隆宏	34
	第3回中	5	29	火	講話 演習 「学習指導の基礎」 「教科の指導①」	教職員の学び支援課 指導主事	小林 誠一郎	17
	第4回	6	5	火	講話 演習 尼崎養護学校での授業参観・体験研修 「特別支援教育」 「インクルーシブ教育」	尼崎養護学校 校長 尼崎養護学校 教諭 教育相談・特別支援担当 指導主事	小寺 英樹 上村 美里 神保 玲子	27
		9	12	火				28
	第5回小	7	10	火	講話 演習 「情報モラル教育」 「教科指導におけるICTの活用」	教職員の学び支援課 指導主事 教職員の学び支援課 指導員	松本 隆範 小谷 隆宏	34
	第5回中	7	10	火	講話 演習 「生徒指導」 「特別の教科 道徳の指導」	生徒指導担当 指導主事 教職員の学び支援課 指導主事	廣田 誠 小林 誠一郎	17
	第6回	7	3	火	講話 演習 「学級経営」 授業実践研修①	尼崎市教育委員 尼崎市立七松小学校 マイスター教員	仲島 正教 中野 穰	51
	第7回小	7	31	火	講話 「楽しく豊かな学級・学校生活を創る特別活動とは」 「算数科の指導・授業実践研修②」	尼崎市立大島幼稚園 園長 関西大学初等部 教諭	今村 七美 尾崎 正彦	34
	第7回中	7	30	月	講話 演習 「特別活動(部活動)」 「授業実践研修②中学校1～3年次教科グループ研修(実践交流・事前研究会)」	学校教育課 係長 はつらつ学級 常陽中学校 教諭 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 教育総合センター 授業改善アドバイザー	橋口 裕司 山岸 秀年 大久保 陽造 高井 知恵 民谷 洋二 大龍 雅子 他	17
	第8回小	9	11	火	講話 演習 「社会体験研修報告会」 「尼崎の歴史」 「国語科の指導」	歴史・文化財担当 課長 桃山学院教育大学 准教授	楞野 一裕 今宮 信吾	33
	第8回中	9	11	火	講話 演習 「社会体験研修報告会」 「尼崎の歴史」 「主体的・協同的な学習について」	歴史・文化財担当 課長 大阪教育大学大学院 准教授	楞野 一裕 寺嶋 浩介	17
	第9回小	9	18	火	講話 演習 「救急救命法」 「教科等の指導におけるICT活用」	尼崎市北消防署 園田分署 教職員の学び支援課 指導員	職員 小谷 隆宏	33
	第9回中	9	18	火	講話 演習 「救急救命法」 「教科等の指導におけるICT活用」	尼崎市北消防署 園田分署 教職員の学び支援課 指導員	職員 藤井 俊史	17
	第10回小	10	2	火	講話 演習 「学校事故およびアレルギー疾患への対応」 「人権教育」 「教科の学習指導(体育)」	学校保健課 指導主事 学校保健課 技手 学校教育課人権担当 係長 尼崎市立園田南小学校 教諭	高原 有子 中庭 幸恵 上村 知一郎 田本 裕之	29
	第10回中	10	2	火	講話 演習 「学校事故およびアレルギー疾患への対応」 「人権教育」 「教科の学習指導(体育)」	学校保健課 指導主事 学校保健課 技手 学校教育課人権担当 係長 教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	高原 有子 中庭 幸恵 上村 知一郎 小林 誠一郎 尾崎 一郎 木村 啓子	17
	第11回小	11	27	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 (成徳小学校第2学年)	教職員の学び支援課 指導主事	松本 隆範	17
		12	4	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 (立花西小学校第4学年)			23
	第11回中	11	20	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 公開授業 事後研究	教職員の学び支援課 指導員 尼崎市立園田中学校 教諭	藤井 俊史 國包 憲子	5
		11	27	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 公開授業 事後研究	尼崎市立中央中学校 教諭 尼崎市立南武庫之荘中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭 尼崎市立武庫東中学校 教諭	大西 彬也 杉谷 剛一 小島 絹江 石井 祐樹	7
		12	4	火	講話 授業参観 授業実践研修③ 公開授業 事後研究	教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	木村 啓子 尾崎 一郎	6
	第12回小	1	15	火	講話 授業参観 「カウンセリングマインドに基づいた教育相談の役割と意義」 「理科の指導・授業実践研修」	教育相談・特別支援担当 係長 尼崎市立武庫小学校 マイスター教員	比嘉 勲 中田 眞一	31
第12回中	1	15	火	講話 授業参観 「カウンセリングマインドに基づいた教育相談の役割と意義」 「道徳の指導・授業実践研修」	教育相談・特別支援担当 係長 尼崎市立中央中学校 教諭	比嘉 勲 富田 学	17	
第13回	2	5	火	講話 演習 「情熱を持ち続けること」 「授業実践交流」	アイポリーミュージック 代表取締役 教職員の学び支援課 指導主事 教職員の学び支援課 指導主事	足立 知謙 松本 隆範 小林 誠一郎	48	
第14回	2	12	火	講話 「評価について(教科指導)」 「1年目研修の成果と課題」 「2年次研修に向けて」	奈良教育大学 准教授 教職員の学び支援課 指導主事	赤沢 早人 松本 隆範 他	49	

研修・研修講座名	実施日				研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
	月	日	曜						
2年次教員研修	第1回 特回 小中	5	30	水	講話	「ストレスマネジメント」 グループ授業実践研修	日本産業カウンセラー協会 講師 教職員の学び支援課 指導主事	安田 翔子 相方 伸二 他	71
	第2回 中	7	30	月	講話 演習	「授業力の向上を図るために」 教科グループ授業実践研修	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー	小林 誠一郎 他 尾崎 一郎 他	17
	第2回 小	通年 各日			演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教職員の学び支援課 係長	相方 伸二 他	51
	第3回 小	通年 各日			授業参観 講話	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教育総合センター 研修担当	相方 伸二 他指導主事	51
	第3回 中	11 11 12	20 27 4	火	授業参観 講話	教科グループ公開授業研修 公開授業と事後研修	尼崎市立園田中学校 教諭 尼崎市立中央中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭 尼崎市立武庫東中学校 教諭 尼崎市立南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 指導員 教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	國包 憲子 大西 勝也 小島 絹江 石井 郁樹 杉谷 剛一 藤井 俊史 木村 啓子 尾崎 一郎	17
	第4回 小中	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (ITによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (ITによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		68
3年次教員研修	第1回 小中	6	18	月	講話 演習	「児童生徒理解に基づき、意図的・計画的に行う生徒指導」 授業力向上研修 (少人数グループ編成等)	生徒指導担当 指導員 教職員の学び支援課 係長	野川 啓 相方 伸二 他	75
	第2回 中	7	30	月	講話 演習	「授業力の向上を図るために」 教科グループ授業実践研修	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー	小林 誠一郎 他 尾崎 一郎 他	14
	第2回 小	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教職員の学び支援課 指導主事	兒玉 崇 他	61
	第3回 中	11 11 12	20 27 4	火	授業参観 講話	教科グループ公開授業研修 公開授業と事後研修	尼崎市立園田中学校 教諭 尼崎市立中央中学校 教諭 尼崎市立立花中学校 教諭 尼崎市立武庫東中学校 教諭 尼崎市立南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 指導員 教育総合センター 授業改善アドバイザー 教育総合センター 授業改善アドバイザー	國包 憲子 大西 勝也 小島 絹江 石井 郁樹 杉谷 剛一 藤井 俊史 木村 啓子 尾崎 一郎	14
	第3回 小	通年 各日			講話 授業参観	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教職員の学び支援課 指導主事	兒玉 崇 他	61
4年目教員研修	通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 (ITによる授業及び実践等)	異なる校・園種との連携 (ITによる授業及び実践等) 各所属からの担当者を指導教官とする。		74	
5年次相当教員研修	通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		*	
中堅教諭等資質向上研修	5	9	水	講話	学校において中堅教諭に求められるもの	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター 囃託員	瀧本 晋作 谷口 陽三	61	
	9	14	金	演習	生徒指導事例の交流	生徒指導担当 係長 生徒指導担当 指導主事	西村 純一 碓 裕樹	61	
	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教職員の学び支援課 指導主事	瀧本 晋作 他	61	
15年次相当教員研修	通年			講話	ミドルリーダーとしての資質向上 (今日的な教育課題等)	各自研修に参加		39	

2 希望による研修（専門研修）

(1) 教育課題等への対応研修

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
人権教育研修講座	(1)	8	1	水	講話	「現代社会のなかの部落差別-ネット社会における問題を中心に-」	大阪市立大学 教授	阿久澤 麻理子	135
	(2)	8	20	月	講話	多様な性/LGBTと子どもたち	やっば愛ダホ! Idaho-net 代表	遠藤 まめた	170
	(3)	8	23	木	講話	「多文化共生を学ぶ ～世界の情勢を見つめる 人間の安全保障を考える～」	神戸大学大学院 教授	栗栖 薫子	121
食育研修講座		8	3	金	講話	子どもたちを取り巻く食の問題と学校給食	大阪社会保障推進協議会 事務局長	寺内 順子	46
子ども理解のための研修講座	(1)	7	26	木	講話	「社会の力で子どもを支え・育てる～子どもの心に寄り添って～」	社会福祉法人神戸いのちの電話事務局長	正岡 茂明	47
	(2)	7	26	木	講話	「発達障害の子を4つのステップで励ましていく方法」	関西学院大学 教授	有光 興記	88
インクルーシブ教育研修講座		8	2	木	講話	インクルーシブ教育における非言語(ノンバーバル)の可能性～国語科の授業づくりを手がかりに～	関西学院大学 准教授	原田 大介	156
一般教養研修講座		8	24	金	講話	愛されるコテラトマトをめざして	兵庫県青年農業者 小寺農園	小寺 清隆	29
学校飼育動物研修講座		6	25	月	講話	「学校飼育動物の意義と目的、最適な飼育環境について」	尼崎市開業獣医師会 代表理事	田中 律正	20
情報モラル・セキュリティ研修		8	7	水	講話	情報モラル教育実践と情報セキュリティについて	阪神教育事務所 情報教育専門推進員	桜木 雅哉	24
プログラミング教育研修講座	(2)	8	21	火	講話 演習	PCを使わないプログラミング学習	教職員の学び支援課 指導主事	滝本 晋作	23
小学校ICT活用研修講座	(1)	8	6	月	講話 演習	「コンピュータ室のタブレット端末及びソフトウェアを活用した授業について」	ジャストシステム インストラクター	藤田 泰子	13
	(2)	8	6	月	講話 演習	「コンピュータ室のタブレット端末及びソフトウェアを活用した授業について」	教職員の学び支援課 指導員	小谷 隆宏	6
中学校ICT活用研修講座		8	8	水	講話 演習	「コンピュータ室の機器等を活用した授業について」	ライむ事務機インストラクター 教職員の学び支援課 指導員	小阪 知沙 藤井 俊史	11
校務支援システム活用研修講座(小学校)	初	7	24	火	講話 演習	「スズキ校務による名簿作成・成績処理等について」	教職員の学び支援課 指導員	小谷 隆宏	3
	上	7	24	火	講話 演習	「スズキ校務による成績処理・通知表入力・要録入力について」			3
校務支援システム活用研修講座(中学校)	初	7	25	水	講話 演習	「スズキ校務による名簿作成・成績処理について」	教職員の学び支援課 指導員	藤井 俊史	6
	上	7	25	水	講話 演習	「スズキ校務による面談資料の作成について」			10
学級集団づくり研修講座 学級経営		6	21	木	講話 演習	学級経営をもっと楽しく～学級経営に特別支援の知見をいかす～	関西国際大学 准教授	百瀬 和夫	73
学級集団づくり研修講座 野外活動体験		8	1	水	講話 演習	野外活動に関する体験研修	尼崎市立美方高原自然の家	久下 慎太郎	16

(2) 教科等の指導力向上をめざした研修(授業力向上研修講座)

研修・研修講座名	実施日			研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数	
	月	日	曜						
アプローチャスタート カリキュラム研修講座 (幼児期と児童期の 接続期教育研修講座)	(1)	8	24	金	講話	「生活する力」で保育所・幼稚園・認定こども園から 小学校への適応を図る	関西国際大学 准教授	棕田 善之	32
	(2)	10	25	木	授業参観 講話 演習	公開授業 「5年生と一緒に図工をしよう」 演習 「ペットボトルのフタを使った造形遊び」	小園小学校 教諭	河野 倫平	30
	(3)	8	31	金	講話 演習	「リズムでつながる言葉・動き・音楽 ～なめらかな幼 保小連携をめざして～」	京都女子大学 教授	岡林 典子	37
国語科教育研修講座	(1)	8	31	金	講話	「言葉の力を育む国語授業づくり」	桃山学院教育大学 教授	二瓶 弘行	181
	(2)	6	27	水	講話 演習	「わかって 書いて 楽しい 書写学習」	神戸女子短期大学 教授	山内 有香子	55
	(3)	7	26	木	講話	「表現力を育む俳句の学習指導」	兵庫教育大学名誉教授	中洲 正堯	13
	(4)	3	7	木	講話	物語文の授業づくり	桃山学院教育大学 教授	二瓶 弘行	78
図書館教育研修講座	7	25	水	講話	2学期から実践！学校図書館を使った授業づくり	大阪教育大学 教授	木原 俊行	27	
社会科教育研修講座	8	6	月	講話 演習	「主体的・対話的で深い学びの社会科 ～授業実践から 考える～」	桃山学院教育大学 教授	中村 哲	25	
算数科教育研修講座	8	22	水	講話	すべての子どもを算数好きにする「しかけ」と「しこ み」	筑波大学附属小学校 教諭	山本 良和	160	
数学科教育研修講座	9	13	木	授業参観 講話	数学的活動を通して思考力・判断力・表現力を高める授 業づくり	兵庫教育大学 教授	濱中 裕明	15	
理科教育研修講座	7	24	火	講話	宇宙を題材にした教材を使った授業づくり	宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙教育センター	松原 理	51	
音楽科教育研修講座	7	23	月	講話	担任にもできる 音楽遊び大集合！	佛光大学 教授	高見 仁志	36	
図工・美術科教育研修講座	7	31	火	演習 講話	「素材(環境)を生かした造形活動」	帝京大学 教授	辻 政博	45	
体育科教育研修講座	(1)	7	25	水	演習	「授業で使える短距離走・スピードトレーニング」	園田学園女子大学 准教授	藤川 浩喜	17
	(2)	8	6	月	演習	「安全に配慮した柔道の指導法」	兵庫県立尼崎稲園高等学校 教諭	藤原 正徳	5
技術科教育研修講座	8	23	木	講話 演習	「これからの技術科教育 ～プログラミングの実践」	大阪教育大学 准教授	光永 法明	9	
家庭科教育研修講座	3	4	月	講話 演習	「ライフステージを通じた食育支援」	北部保健福祉センター 地域保健課	山岡 かおり	5	
大学と連携した英語指導力向 上研修講座	1	21	月	授業参観 講話	小中連携・接続に向けて	兵庫教育大学 教授	吉田 達弘	26	
外国語活動・英語科教育研 修講座	8	21	火	講話	小中一貫英語教育に向けて	大阪教育大学 教授	加賀田 哲也	88	
総合的な学習研修講座	8	1	水	講話	子どもたちを取り巻くネット社会 ～知っておくべき最 新情報～	一般社団法人ECネットワーク 理事	原田 由里	15	
特別活動研修講座	8	21	火	講話	「生き方・在り方を深化させる活動 ～創造活動と集団づくり～」	香川大学教育学部附属 高校小学校 教諭	轟 秀明	25	
幼児教育研修講座	12	3	月	講話	「強みを生かした幼児教育の展開-新幼稚園教育要領の 実践のポイント-」	鳴門教育大学付属幼稚園長	佐々木 晃	60	
マスター教員による 公開授業研修講座 (小学校教諭による授業) (中学校教諭による授業)	(1)	7	9	月	授業参観 講話 演習	「修学旅行のパンフレットを作ろう」	水堂小学校 教諭 マスター認定教員	西尾 鮎子	10
	(2)	7	17	火		「針金を使って」	潮小学校 教諭 マスター認定教員	福田 裕実	23
	(3)	9	14	金		「分詞の後置修飾」	武庫中学校 教諭 マスター認定教員	岡村 美保子	9
	(4)	9	25	火		「プレゼンテーション学習」	大庄中学校 教諭 マスター認定教員	富田 弘文	10
	(5)	10	2	火		「鉄棒運動」	園田南小学校 教諭 マスター認定教員	田本 裕之	29
	(6)	10	12	金		「これからの食料生産」	尼崎北小学校 教諭 マスター認定教員	青木 一郎	10
	(7)	10	25	木		授業を創ることは楽しいこと 公開授業「流れる水のはたらき」	武庫小学校 教諭 マスター認定教員	中田 眞一	12
	(8)	11	22	木		「全校生で音読の声を響かせよう」	園田小学校 教諭 マスター認定教員	佐藤 隆史	9
	(9)	1	24	木		「マット運動」	園田南小学校 教諭 マスター認定教員	田本 裕之	12
	(10)	1	29	火		「ネイチャーゲーム」	成徳小学校 教諭 マスター認定教員	江形 拓也	10
教育研究発表会	各部会で随時			講話 参観	教育総合センター研究発表会	専任講師 ◆桃山学院教育大学 准教授 今宮信吾 氏 ◆関西大学初等部 教諭 尾崎正彦 氏 ◆関西大学 教授 今井裕之 氏 ◆大阪教育大学大学院 准教授 寺嶋浩介 氏 ◆鳴門教育大学大学院 講師 泰山 裕 氏 ◆四天王寺大学 准教授 杉中康平 氏 教育総合センター 指導主事・指導主事・研究員	*		

1 1 平成30年度 教育研究部会の概要報告

1 小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

— 国語科における学習評価の在り方を探る —

専任講師 今 宮 信 吾

(桃山学院教育大学 准教授)

指導主事 松 本 隆 範

研 究 員	葛 原 稔 久	(明 城 小)	西 村 純	(立 花 西 小)
〃	砂 田 祐 馬	(難 波 小)	笹 部 裕 也	(立 花 北 小)
〃	中 尾 武 史	(難 波 の 梅 小)	喜 多 淳 子	(名 和 小)
〃	菅 原 咲 樹	(竹 谷 小)	明 石 幸 子	(塚 口 小)
〃	古 田 智 代	(下 坂 部 小)	上 月 由 貴	(尼 崎 北 小)
〃	中 島 衣 美	(潮 小)	小 林 真 子	(水 堂 小)
〃	井 上 学	(長 洲 小)	村 内 亜 莉 沙	(七 松 小)
〃	小 杉 宏 美	(清 和 小)	辻 武 史	(武 庫 小)
〃	下 村 一 貴	(杭 瀬 小)	西 川 達 也	(武 庫 南 小)
〃	松 本 み ゆ き	(浦 風 小)	上 田 篤	(武 庫 北 小)
〃	山 田 真 維	(金 楽 寺 小)	梅 園 千 鈴	(武 庫 東 小)
〃	金 城 裕 輔	(浜 小)	松 井 啓 明	(武 庫 庄 小)
〃	田 村 和 香 子	(大 庄 小)	森 本 祥 一	(武 庫 の 里 小)
〃	木 口 範 彦	(大 庄 小)	奥 村 文 那	(園 田 小)
〃	伊 場 田 朝	(成 文 小)	合 田 香 織	(園 田 北 小)
〃	岡 田 実 樹	(成 徳 小)	増 田 有 希	(園 和 小)
〃	藤 田 慎 也	(わ か ば 西 小)	杉 山 未 記	(園 和 北 小)
〃	上 田 絵 梨 香	(大 島 小)	原 田 麻 畝	(園 田 東 小)
〃	清 水 優 希 歩	(大 島 小)	戒 能 隆 幸	(上 坂 部 小)
〃	渡 部 真 広	(浜 田 小)	田 中 知 佳	(小 園 小)
〃	宇 都 亨	(立 花 小)	有 馬 陽 一	(園 田 南 小)
〃	井 本 早 耶	(立 花 南 小)		

【内容の要約】

平成28年度より、市内の各小学校から選任された教員が一堂に会し、国語科における主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現に向けた研究部会を立ち上げ、授業改善を推進している。専任講師として桃山学院教育大学教育学部准教授 今宮 信吾氏を招聘し、講話・演習・交流等を通して、不断の授業改善に向けて歩みを進めてきた。今年度は、3カ年における研究の集大成として、ルーブリックを設定した指導案を部員全員が作成し、授業実践を通して、国語科における学習評価についての学びを深めていく。

明確な証拠・根拠を必要とするエビデンスに基づいた評価を行うためにも、教師がこれまで以上に児童の実態把握や教材研究に努めることが求められる。そして、児童が目標を持って学びに向かうためには、ルーブリックの重要性について共通理解を図り、教師の主観や児童の人間性に左右されない、国語科における学習評価が不可欠である。

本研究では、二つの実践事例をもとに「主体的・対話的で深い学びの行方」について探り、授業改善の視点を市内全体に広めていくことを目的とした。

2 小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び） で創る算数科の授業を目指して

専任講師 尾崎 正彦
（関西大学初等部 教諭）
指導主事 相方 伸二

研 究 員	湊 崎	光	（明城小）	中野	一哉	（立花北小）
〃	辻岡	悠佳	（難波小）	藤原	淳子	（名和小）
〃	森	大祐	（難波の梅小）	澤	航平	（塚口小）
〃	西浦	一樹	（竹谷小）	澤田	泉	（尼崎北小）
〃	藤田	和久	（下坂部小）	安田	直樹	（水堂小）
〃	川中	啓	（潮小）	関井	康人	（七松小）
〃	水本	雅昭	（長洲小）	山本	正貴	（武庫小）
〃	志水	昌彦	（清和小）	池淵	正樹	（武庫南小）
〃	岡	委久	（杭瀬小）	山崎	朋美	（武庫北小）
〃	渡邊	美和子	（杭瀬小）	鈴木	佳世	（武庫東小）
〃	大谷	昇平	（浦風小）	伊藤	優	（武庫庄小）
〃	丸橋	弘和	（金楽寺小）	鎌尾	千晶	（武庫の里小）
〃	角井	智美	（浜小）	早藤	沙恵	（園田小）
〃	野口	祥代	（大庄小）	大戸	美奈子	（園田北小）
〃	荒木	奈那	（成徳小）	亀岡	優子	（園和小）
〃	利重	里奈	（わかば西小）	辻本	悠之助	（園和北小）
〃	松下	紋華	（大島小）	竹内	宏美	（上坂部小）
〃	岡田	早百合	（浜田小）	牧原	由季	（小園小）
〃	渡邊	由香	（立花小）	吉田	大	（園田南小）
〃	西村	信作	（立花南小）	郷田	峻次	（園田南小）
〃	小野	裕未	（立花西小）			

【内容の要約】

本研究部会では、算数科における「授業改善」を図り、「アクティブ・ラーニング」（主体的・対話的で深い学び）で創る授業を構築していく上で、以下のような実践に取り組む。

○部会での学びを通して、目標とする授業の様相や子どもの姿を明確にしていく。

- ・専任講師による継続した指導をもとに、自分の授業の問題点を自覚するとともに、それらを日々の算数授業における授業改善に役立てる。
- ・専任講師により示された「子どもの声や問いに常に寄り添って、問いが連続するような授業を展開すること」を授業変革の第一歩とする。

○教師自身もアクティブに学びを得られるよう参加型の研修を設定する。

- ・教材を研究する力、教材提示や指導技術等の実践的な授業力を身につける。
- ・「授業を観る力」、「子どもを観る力」を鍛え、「授業を創る力」に直結させる。
- ・各自が事前作成課題を持ち寄り、授業実践交流を行う。

○代表者による公開授業を設定する。

3 中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び） の授業づくりを通して — 「アクティブ・ラーニング」の授業実践と校内での広まり—

専任講師 寺 嶋 浩 介
(大阪教育大学大学院准教授)

専任講師 泰 山 裕
(鳴門教育大学大学院准教授)

情報教育担当 藤 井 俊 史

研 究 員	田 川	雅 弘	(成 良 中)	松 田	寿 子	(塚 口 中)
〃	清 山	かほる	(中 央 中)	日 名 子	聡 子	(武 庫 中)
〃	西 田	篤 司	(日 新 中)	寺 岡	亮	(南 武 庫 之 荘 中)
〃	森 山	多 生	(小 田 中)	大 堀	法 之	(武 庫 東 中)
〃	原	慶 大	(小 田 北 中)	西 沖	尚 士	(常 陽 中)
〃	早 川	洋 平	(大 成 中)	皆 倉	陸	(園 田 中)
〃	森 沢	貴 文	(大 庄 中)	吉 川	勇 貴	(園 田 東 中)
〃	中 北	萌 香	(大 庄 北 中)	坂 本	知 弘	(小 園 中)
〃	草 留	真 弓	(立 花 中)			

【内容の要約】

中学校の「アクティブ・ラーニング授業実践部会」は、市内全中学校から推薦された部員により組織された部会であるが、各校からは、可能な限り、過去に所属したことがある部員とは違う教員を推薦してもらうようお願いをして、部会を組織した。

取組内容については、今年度は次の点をねらいとする。

○アクティブ・ラーニングの授業づくりを通して、その重要なポイントを明確化することができる。

○上記の視点をもとに、3つのプロジェクトチームを組織し以下のような活動に取り組む。

- ・「ICT活用」チームを結成し、ICT機器を活用した効果的なアクティブ・ラーニング授業に取り組む。
- ・「研修普及」チームを結成し、教員向けの研修等をデザイン、実施モデルを作成する。
- ・「深い学び」チームを結成し、「深い学び」になるようアクティブ・ラーニング授業実践に取り組む。

○部会での内容等を、校内でどのように広めるかを考える。

○自分以外の教員（できれば他教科）も巻き込んで、「アクティブ・ラーニング」の授業実践を広める。

4 道徳教育研究部会

「共に考え 共に語り合う」授業づくり

一 「生命の尊さ」を扱い、各校種に応じた授業づくりを考える一

専任講師 杉 中 康 平

(四天王寺大学 准教授)

指導主事 小 林 誠 一 郎

研究員 立 半 博 満 (小園小) 吉 見 響 (塚口小)

〃 富 田 学 (中央中) 黒 越 華 芳 (小田中)

〃 笹 倉 伸 悟 (あまよう特)

【内容の要約】

道徳の時間において、児童生徒が他者との対話を通して多様な考えに触れ、ねらいとする道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深めさせることは、他者と共により良く生きようとする道徳性を育むことにつながる。

本研究では、「特別の教科 道徳」の内容項目D-19生命の尊さを扱い、各校種の発達段階の違う子どもたちへ、道徳的価値に迫る授業展開について研究を進めた。発問の工夫と共に、多様な意見を出し合い高め合う授業のあり方を求めた授業実践の指導案の変遷を提示する。

5 外国語・英語科教育研究部会

児童が、【書くこと】への意欲を高め、前向きに学習を進めることができる指導の在り方を探る

専任講師 今 井 裕 之

(関西大学 教授)

指導主事 小 谷 隆 宏

研究員 野 上 直 哉 (園和北小) 水 本 雅 昭 (水堂小)

〃 太 田 宏 樹 (立花小) 和 田 紗 知 (小田北中)

【内容の要約】

平成29年度の小学校学習指導要領改訂では、外国語科の『書くこと』の目標において、『ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする』

と明記されており、新たに『書くこと』に関する事項が取り扱われることとなった。

以上のような学習指導要領の方向性を踏まえ、『書くこと』についての指導イメージを持つことが難しいと感じる教員に対し、より具体的な指導イメージをもつことができるよう、本年度の研究テーマを『児童が、【書くこと】への意欲を高め、前向きに学習を進めることができる指導の在り方を探る』とした。

1 2 児童生徒文化充実支援事業の実施報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催した。

- 1 中学校・高等学校合同音楽会
(平成 30 年 10 月 30 日 あましんアルカイクホール)
小学校音楽会 (平成 30 年 11 月 8・9 日 あましんアルカイクホール)
- 2 幼児画展・図工展・美術展
(平成 30 年 1 月 30 日～2 月 3 日 総合文化センター美術ホール)
- 3 演劇発表会 (平成 31 年 1 月 27 日 ピッコロシアター)
- 4 書道展 (平成 31 年 1 月 23 日～1 月 27 日 総合文化センター美術ホール)
- 5 なかよし作品展 (平成 31 年 1 月 23～1 月 27 日 総合文化センター美術ホール)
- 6 英語祭 (平成 30 年 10 月 31 日 中央公民館)
- 7 特別支援学級卒業生を送る会 (平成 31 年 2 月 23 日 武庫地区会館)
- 8 スピーチフェスティバル (平成 31 年 2 月 7 日 教育総合センター)
- 9 放送・映画感想文コンクール表彰式 (平成 31 年 2 月 3 日 中央公民館)
- 1 0 中学校読書感想文発表会
(平成 30 年 11 月 1 日 教育・障害福祉センター)
小学校読書感想文・感想画発表会
(平成 31 年 1 月 18 日 教育・障害福祉センター)
- 1 1 中学校理科作品展・研究発表会 (平成 30 年 9 月 22 日～25 日 青少年センター)
創意工夫展 (平成 30 年 9 月 14 日～18 日 青少年センター)
児童理科研究発表会 (平成 30 年 10 月 25 日 教育・障害福祉センター)
- 1 2 中学校社会科作品展 (平成 30 年 9 月 21 日～9 月 27 日 中央公民館)
- 1 3 小学校家庭科作品展 (平成 30 年 10 月 4～5 日 青少年センター)
技術科・家庭科作品展 (平成 31 年 2 月 16～17 日 青少年センター)

1 3 平成30年度 教科書センター事業報告

1 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	小学校 昭和 40 年以降の教科書 中学校 昭和 37 年以降の教科書 高等学校 昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
2 法定展示	開館時間	平成 30 年 6 月 15 日 ～ 平成 30 年 7 月 4 日 (但し、土曜日、日曜日は閉館)
	展示教科書	平成 27 年度～平成 30 年度使用小学校用教科書 平成 28 年度～平成 31 年度使用中学校用教科書 令和元年度使用高等学校用教科書 令和元年度使用中学校用「特別の教科 道徳」教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書

1 4 平成30年度 教育情報の収集・整理事業報告

1 各種教育資料の収集 (保有数)	
・ 教育関係図書	14476 冊
・ 教育関係資料 (研究紀要・報告書)	8128 冊
・ 雑誌収集	12 タイトル
2 教育広報活動	
・ 「教育総合センターだより」 (平成 30 年 5 月、9 月、12 月、平成 31 年 3 月の年 4 回発行)	No. 148 ～ No. 151
・ 「教育あまがさき」 (平成 30 年 10 月、平成 31 年 3 月の年 2 回発行)	第 82 号 ～ 第 83 号
3 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 56 号

(様式3)

第 号
令和 年 月 日

尼崎市立教育総合センター
学び支援課長 様

校・園名 尼崎市立
校・園長名 印

欠 席 届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

- 1 研修・研修講座名 _____
- 2 研修実施日 令和 年 月 日 ()
- 3 対象者名 _____
- 4 欠席理由 ※校務の場合、本人でなければならない理由を明記する。

以 上